



## 香港

### 中古品リサイクル業者を調査

- HKCC : ホームページ [https://www.consumer.org.hk/ws\\_en/news/press/521/furniture-recycle-services.html](https://www.consumer.org.hk/ws_en/news/press/521/furniture-recycle-services.html)
- CI : ホームページ <https://www.consumersinternational.org/what-we-do/world-consumer-rights-day/sustainable-consumer-2020/>

2020年のCI(国際消費者機構)の世界消費者権利デーのテーマは「持続可能な消費者」。持続可能性の意識を高め環境にやさしい消費習慣を育むよう提唱している。中古品の購入は製品寿命を延ばし、使用量を減らしゴミも減らす一助となることから、HKCC(香港消費者委員会)は市内の中古品リサイクル業者を調査した。業者は買い取った物品を中古市場で販売、一部を環境保護や廃棄物削減支援のために慈善団体等に渡している。

調査に応じた7社のうち5社は個数や状態、場所によって手数料等を設定するが、値打ち物(家具など)なら出張料の値引きに応じるケースもある。業者によっては特注品や組み立て品、壁に作りつけの家具などは買い取りを拒否するケースもある。さらに、申込時に告げられた品物の状態と現物が異なる

と業者が判断した場合、引き取りを拒否したうえ出張料を請求することもある。また、再利用不可で処分する場合には品物の種類やサイズ等に応じた廃棄料や輸送料を徴収することが多く、中には業者が扱う中古品の購入を要求する場合もある。

中古品は業者の店舗や修理工場、オンラインサイトなどで販売される。構造等に欠陥がある家具は購入後1週間以内であれば1社が彩色直しや修理に応じ、1カ月以内に壊れた中古家電は1社が返品・返金に応じ、出張修理等に応じるところも1社あった。

消費者が買い取りで中古品業者を利用する際は、料金や支払い方法、傷や動きの悪いところがないかなどを事前に調べ、また中古品購入の際にはオンラインではなく、できるだけ現物を直接見る、アフターサービスも事前に調べておく、などを助言している。



## イギリス

### 新車のCO<sub>2</sub>排出量が増えている

- Which? : ホームページ <https://www.which.co.uk/news/2020/02/new-cars-emit-more-climate-changing-co2-than-old-according-to-which-tests/>  
<https://www.which.co.uk/reviews/new-and-used-cars/article/how-we-test/how-we-test-mpg-and-emissions>

Which?では、2017年に新車の試験プログラムを一新し、これまでに292モデルの排ガスや燃費をテストしベスト・カーを選定、推奨している。Which?独自のテストプログラムは、連続高速走行、エアコンやラジオのスイッチ・オンなど、ヨーロッパ基準の公式試験より現実的で過酷である。このほど、排ガス量の推移を分析したところ、政府が掲げる2050年温室効果ガス排出量ゼロの目標にもかかわらず、最新の排出基準のEuro6d-temp、Euro6d認証車のほうがそれ以前のEuro6b、Euro6c認証車より全車種においてCO<sub>2</sub>排出量が増加していることが判明した。最も増加率の少ない中型ディーゼルSUV(6.4%増)から大幅に増加した大型ハイブリッドSUV(31.7%増)まで、全体平均で10.5g/km増えて7%の増加であった。一方、有害なNOX排

出量の84%減を始め、COやPMの排出量もそれぞれ大幅に減少しており、「私たちの肺にやさしく地球に厳しい」結果だという。

Which?は、CO<sub>2</sub>排出量増加の理由として、車体の大型化や最新テクノロジー機器の搭載による重量増加、有害排出物削減に必要な技術やソフトウェアの変更による燃料消費増加を挙げている。

2021年以降はCO<sub>2</sub>排出量95g/km以下、超過分1g当たり95ユーロの罰金が各車に課されるという厳しい規制が導入される。この挑戦的な規制導入により、電気自動車やハイブリッド車の増加など市場に大きな変化をもたらす可能性がある。Which?は、メーカーに対し、CO<sub>2</sub>削減に向けた技術改善を継続し未来の地球に適したクリーンな自動車のために全力を尽くすよう期待するとしている。

## オーストリア

## マスク習慣のない国の必需品は？

- VKI「消費者」2020年3月号 <https://www.konsument.at/test-taschentuecher032020>
- VKIホームページ <https://www.konsument.at/coronavirus-sind-atemschutzmasken-sinnvoll-032020>

「日本人が顔に着けている白い物は何ですか」。数年前まで、ヨーロッパから初来日した人がよく口にする言葉だった。今では、新型コロナウイルスの感染拡大により、ヨーロッパでもマスクの存在が認知されている。もっとも、一般消費者がマスクをするかどうかにかかわらず、感染予防対策として他人と距離を保つこと、念入りな手洗いが重要だとされる。また、マスクをしていない状態でせき・くしゃみをする際は、袖かポケットティッシュで受け止め、使用後のペーパーは直ちに捨てるよう注意喚起したのがVKI(オーストリア消費者情報協会)である。

それというのも、ドイツ語圏のポケットティッシュは、レストランの紙ナプキンにも似た丈夫な紙質の4枚重ねで、一度使っても捨てずにポケットに戻す人が珍しくないからである。2019年に同国で

消費されたポケットティッシュは1人当たり約1.6kgに上ることから、同協会はポケットティッシュ13商品を対象に比較テストを行った。

その結果、総合的にはすべての商品が合格点を獲得した。最も評価が高かったのは、価格が手頃な小売チェーンの独自ブランド品だった。引っ張り強度が特に強く、吸水性が高い点が評価されたという。一方、古紙由来と思われる漂白剤が検出された商品、細菌が目立つ商品もあり、再生紙品の弱点が浮き彫りとなったとのことである。

また、ポケットティッシュ1パックには、4枚重ねの紙が10組入っているのが普通だが、9組しかない商品が複数見つかった。同協会は、外観を変えずに内容量を減らす販売方法を問題視している。

## ドイツ

## 緊急時の今こそ「ご近所さんの日」を

- 連邦政府ホームページ <https://www.bundesregierung.de/breg-de/themen/coronavirus/corona-nachbarschaftshilfe-1731908>
- 連邦家庭・高齢者・女性・青少年省ホームページ <https://www.bmfsfj.de/bmfsfj/mediathek/mitmachen-beim-tag-der-nachbarn-2019/135594>

毎年5月の最終金曜日、欧州各地で開催される地域行事が「ご近所さんの日」である。この行事は、高齢者の孤独死を契機として住民間の交流を深めるため、1999年にパリで始まった。近隣住民による持ち寄りパーティーの一種で、会場となるアパートの中庭、駐車場、公園等には飾りつけが施され、音楽がその場を盛り上げる。

ドイツでは、連邦家庭省等の後援により、ご近所財団が住民間の交流を推進しており、「ご近所さんの日」にパーティーを開催する住民は、パーティーボックスを無料で入手できる。このボックスには、飾りつけ用の風船やチョーク、招待カード、パーティーの手引き等が入っている。本来なら、2020年5月29日には、ドイツ各地で近隣パーティーが開かれる予定だった。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大により、住民同士の触れ合いが極めて難しくなった。そこで、同財団はパーティー主体の「ご近所さんの日」を不開催とする代わりに、近隣住民の連帯を求める「今こそ、ご近所さんの日」を提言した。普段は住民同士の助け合いをインターネットでサポートする同財団だが、インターネット環境の整っていない住民でも参加できるように、無料電話サービスを充実させた。郵便番号、電話番号とともに、必要とするサポート内容(買い物、話し相手等)を自動応答電話に吹き込むと、条件の合う近隣住民の中からサポート役が選ばれ、電話で直接つながるしくみである。買ってきた食料品等は買い物袋ごとドアノブに掛けるなど、感染防止の観点も忘れない。このような緊急事態でこそ、ご近所さんの力は大きいと強調する。